

新規捕獲手法の検討について

1. 新規手法開発の必要性

麻酔銃や装薬銃を用いた捕殺を繰り返すとニホンジカ個体の警戒心が高まり、捕獲を行う昼間の目撃頭数は、捕獲を行わない夜間の目撃頭数を大きく下回り、捕獲効率は年々減少してきた。このような現象は装薬銃を用いた捕獲が行われる地域（乱場など）で見られる。

くくりわなにおいても、同じ場所に設置し続けることで、その場所に対する警戒心が高まり、捕獲頭数が減少する。また、これまでの試験捕獲において明らかにくくりわなを意識した行動をとるシカが自動撮影カメラで撮影されており、くくりわなを認識する個体が出現してきている。今後、目標捕獲数を確保するためには、装薬銃等の既存捕獲手法の捕獲効率を向上させるための検討、警戒心を抱かせない、あるいは夜間にも実施可能な捕獲手法等、新規手法を用いる必要がある。これまでに検討した新規手法を表 1 に示す。

表 1 これまでに試験した新規手法

手法名	課題等
ドロップネット	捕獲性の高いネット素材がない。
Box Trap	設置の手間がかかる割に他の手法に比べて捕獲効率が著しく低い。
ビートパルプ（誘引手段）	誘引効果は高いが、物質調達が難しい。
自動給餌機（誘引手段）	馴化すれば誘因性は高いが、シカ以外の種が誘引される可能性がある。イノシシ、ネズミ類が誘引されていることが、自動撮影装置にて確認された。ただし、餌の種類を変えることにより、これらの課題を解決する可能性はある。
くくりわな	人への安全性を確保した上でのドライブウェイ開放期における捕獲効率を維持するための試験実施中

2. ハイシートの試験

今年度の第 2 回捕獲時に、新規捕獲手法として「ハイシート」による捕獲を試験した。ハイシートとは、樹上に設置するイス（写真 1）である。シカの死角となる樹上から、麻酔銃や装薬銃、吹き矢などによる狙撃が可能であるため、人に対する警戒心を抑える効果が見込まれる。

海外では高密度地域における給餌と併せた方法で実用されている。国内では神奈川県（丹沢：神奈川県農政部自然環境保全センター 平成 21 年度水源林整備ニホンジカ管理モデル調査業務）等で実施されているが効果は未だ明らかではない。

(1) 目的

麻醉銃や装薬銃による捕獲効率の著しい低下を受け、シカの死角からの狙撃がどれほどの効果があるのかを試験し、結果を今後の捕獲に反映する。

(2) 方法

ハイシートを樹高 5m 以上の付近に設置し、設置木の周囲にエサとなるヘイキューブを撒きシカを誘引した。自動撮影でシカの餌付きを確認後、ハイシートで待機して麻醉銃による捕獲作業を開始した。

(3) 結果

5 月 31 日にハイシートを設置し、設置木の周囲にヘイキューブを撒いた。その後の個体の出没状況を自動撮影カメラで撮影した。

今回の結果では、ハイシート待機中にシカを 1 頭も目視できなかった。待機していない日の同じ時間帯にはシカが現れているため、シカに存在が認識されていた可能性がある。

(4) 改善に向けて

今回ハイシートを設置した高さは 4~5m 程度であった。ハイシートの設置手法上、枝がある高さよりも上には設置ができない。より高い位置に設置ができる樹木を選定する必要があった。また、ハイシートのオプション機材として、人間の姿が露出しないブラインドが販売されている。

より高い所に設置できる森林環境、ブラインドの利用、餌の枯渇期の実施、継続的給餌等により効果を再度検証する必要がある。

また、今回試験は麻醉銃を用いた捕獲を想定した近距離での出没状況の確認試験であったが、今後はライフル銃などを想定した遠距離での射撃も想定し、100m 程度離れた場所での有効性の検討を行う。

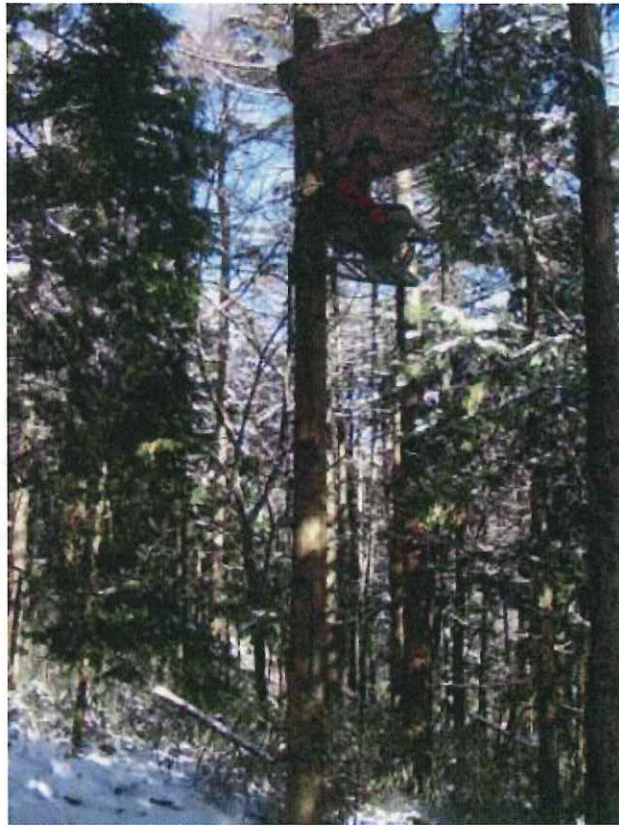


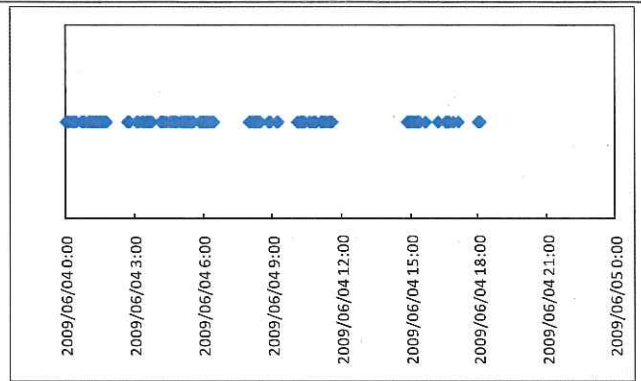
写真1 ハイシート設置例

【参考】

<p>5月31日 15時ごろ、試験開始。当日中はシカ現れず。</p>	<p>Timeline chart for May 31st. The x-axis shows time from 2009/05/31 0:00 to 2009/06/01 0:00. A single orange vertical bar labeled '給餌' is positioned at 2009/05/31 15:15:00.</p>
<p>6月1日 明け方よりシカ出現。一日中滞在。給餌時に数頭遭遇。給餌が終了し、その場を離れた後、すぐにシカが出現。</p>	<p>Timeline chart for June 1st. The x-axis shows time from 2009/06/01 0:00 to 2009/06/02 0:00. Blue horizontal bars indicate deer presence from approximately 05:00 to 15:00 and from 18:00 to 21:00. An orange vertical bar labeled '給餌' is at 2009/06/01 15:00.</p>
<p>6月2日 前日より明け方まで常時滞在。8時ごろから出現回数減少。14時ごろハイシートに向かうが、ハイシート付近でシカに遭遇。エサを撒いた後ハイシート待機。待機中はシカ出現せず。待機終了し、その場を離れた後、1時間後から翌日まで常時滞在。</p>	<p>Timeline chart for June 2nd. The x-axis shows time from 2009/06/2 0:00 to 2009/06/3 0:00. Blue horizontal bars show presence from 00:00 to 08:00 and from 18:00 to 21:00. Blue diamonds labeled '撮影より待機' are at 14:00, 15:00, and 16:00. Orange vertical bars are at 15:00 and 16:00.</p>
<p>6月3日 前日より明け方まで常時滞在。その後9時ごろから出現再開。9時過ぎにハイシートに向かうが、ハイシート付近でシカに遭遇。エサを撒いた後ハイシート待機。待機中はシカ出現せず。待機終了し、その場を離れた後、3時間後から翌日まで常時滞在。</p>	<p>Timeline chart for June 3rd. The x-axis shows time from 2009/06/3 0:00 to 2009/06/4 0:00. Blue horizontal bars show presence from 00:00 to 09:00 and from 18:00 to 21:00. An orange vertical bar labeled 'ハイシート待機' is at 2009/06/3 9:00.</p>

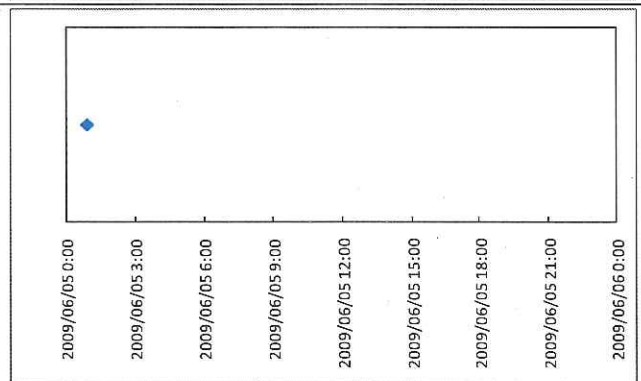
6月4日

下山のため捕獲は終了したが、自動撮影は継続。午前中は定期的にシカ出現。エサがなくなったため、午後から出現減少。



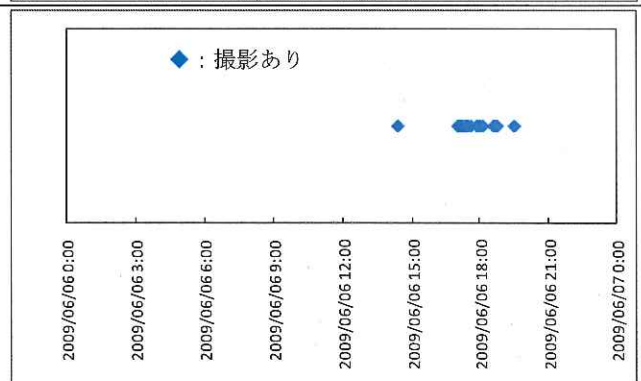
6月5日

深夜に一度だけ出現したがその後出現なし。



6月6日

午前中出现なし。夕方出現が増えたが、バッテリー切れで20時ごろの撮影が最後。



◆ : 撮影あり